

# 就労移行支援事業

## 今年度就職されたお二人の近況報告

「有限会社 アクシア」様に就職された 西田さん

Q：就職が決まった時の気持ちを教えてください。

A：最初は出来るか不安でしたが、私に合った仕事が見つかって嬉しかったです。私が体調を崩し長期休んでしまった時も、会社の人から「治るまで待っているから」と言われ本当に嬉しかったです。障害がある私を受け入れて頂き本当に感謝しています。

Q：今どんな事にやりがいを感じてしますか？

A：お客様に「きれいにやって貰ってありがとう」「頑張ってくださいね」と声をかけて貰えると嬉しく、やりがいを感じます。そして、一人で任せられて仕事ができることです。

Q：就職して困ったことはありますか？

A：外国のお客様に声をかけられた時。それでもジェスチャーで対応しています。

Q：今の職場でどんなことを頑張っていきたいですか？

A：今は現状維持で、休まず出勤し丁寧に仕事をこなしたいです。

Q：作業所での訓練の中で今役立っている事は何かありますか？

A：訓練ではないですが、雇用創出での経験が一番有り難かったです。雇用創出では会社でのマナーや、清掃の基礎を学ぶことができました。就労移行支援では、施設外での作業訓練ができて良かったです。また、座学では履歴書作成や面接練習ができて良かったです。

Q：最後に就職を希望している人へメッセージ

A：希望する職種があれば、実習をやって決める事が大事だと思います。実習をして、自分にできそうと思えば挑戦すればいいし、難しいと思えば次を探せばいいので、無理をしないように頑張ってください。

高山バスセンターの待合室では、お客様の邪魔にならないように注意して清掃を行っています。



「社会福祉法人 清徳会 南風園」様に就職された 橋本さん

就職が決まった時は、とても嬉しかったです。家族にも「おめでとう」と喜んでもらえました。今の職場では、午前中は掃除機かけやトイレ清掃を行い、午後からは清拭縫いや洗濯をしています。清拭縫いを沢山縫えた時はやりがいを感じます。就職してから困ったことは特にはありませんが、いつもと違う業務を頼まれた時は緊張しながらも、雇用創出の時に経験したことを思い出しながらできて良かったです。

これからも丁寧に掃除を行い清拭布を一枚でも多く縫えるように頑張っていきたいです。



## 就労継続支援 B 型事業

### あじさい会 活動報告

就労継続支援B型事業には、利用者さんが主体になって余暇活動に取り組む「あじさい会」があります。楽しみながら、学び、経験する事をモットーに全員で話し合い年間行事を決定します。

今年度の年間行事予定は、このように決定しています。

4月 お花見	5月 グランドゴルフ	6月 ボーリング
7月 食事会	8月 バーベキュー	9月 バス旅行
10月 りんご狩り	11月 買い物	12月 クリスマス会
1月 新年会	2月 餅つき会	3月 調理実習

公共施設を利用したり、たくさんの方が集う場所へ参加したりする中で、マナーやルールを学び実行する。作業所で働き得たお金で買い物をするなど、それぞれが成長に繋げる場でもあります。今後も充実した活動になるよう取り組んでいきたいです。

9月に名古屋港水族館へバス旅行に行った様子を、裏面にてご覧ください。



名古屋港水族館に行ってきました。  
名古屋の福祉施設の方たちもいらっやあって賑やか  
でしたが、譲り合って見学し、楽しい時間を過ごすことが  
出来ました。

うまく  
撮れるかなー？



んっ？  
何があるのかなー



# 青空通信

NPO 法人 ウェルコミュニティ飛騨 青空作業所  
高山市山口町 1297-1 0577-35-1559  
<http://welcomhida.web.fc2.com/>  
平成29年 10月 10日発行 第34号



## 防災への取り組み

理事長 柏木 真司

日頃より、ウェルコミュニティ飛騨の活動に対し、ご理解とご支援を賜り、厚く御礼申  
し上げます。

9月1日の防災の日には、地域で様々な取り組みがされていましたが、福祉事業に  
携わる私たちにとっても防災への取り組みは重要なものであります。以前から火災に  
対しては避難訓練や消防講習を受けるなど、取り組みをしておりましたが、地震など  
自然災害に対しては十分な備えができていない状況ではありませんでした。これをうけ  
最近の取り組みとしては、防災マニュアルを策定しました。そこには災害時の対応・  
体制、日頃の備え、障がいに応じた対応等が記載されています。

青空作業所のある場所は、幸いに土砂災害警戒区域にはなっていません。しかし  
ながら想定されない被害が生じるのが常でありますから、十分な対策が必要であるこ  
とはいうまでもありません。実際に視覚障害の方や車いす利用の方を一時避難所ま  
で誘導するには、シミュレーションだけでは不十分であり、実際の訓練が必要である  
と考えています。

そして避難所に着いた後は、地域の方々の理解と支援が必要となって参ります。  
一度に30数名の作業所関係者が避難するわけですから、大変なご負担をおかけす  
ることになると思います。いざという時に、地域の方々に受け入れて頂くには、日頃か  
らの私たちの地域への貢献が必要であると考えています。地域のイベントにも積極的  
に参加させて頂き交流を深めていきたいと考えております。

どうか近隣の皆様、私たちが地域のお役に立てることがございましたら、お声をか  
けて頂きたいと思っております。そして障がいのある方々へのご理解とご支援を何卒、お願  
い申し上げます。



## 「障害者差別解消法」出前講座のお知らせ

昨年4月1日に障害者差別解消法が施行されました。この法律において、障害者  
手帳のあるなしに関わらず、日常生活や社会生活に制限がある方に対して、差別的  
取り扱いをしてはならないこと、ならびに合理的配慮を行うことが決められています。

この法律で謳われていることはとても重要なことではありますが、まだ一般の方々に  
周知されておらず、合理的配慮の内容がわかりにくいといった問題を抱えています。

そこで一般の方々にもこの法律を理解して頂くために出前講座を行っております。  
先日は、高山市西地区見守り推進員の研修会に出前させて頂きました。参加された  
見守り推進員の方からは、「大切な法律なのに全く知らなかった」「障がいのある方  
への声かけ、思いやりの行動を心がけたい」といった感想を頂きました。

町内会の会合、まち協の活動の際にお声をかけて頂ければ、合理的配慮の内容  
についてわかりやすく説明させていただきます。どうかお気軽に出前講座をご活用く  
ださい。

問い合わせ先

ウェルコミュニティ飛騨 青空作業所 担当: 柏木(かしわぎ)  
電話・FAX 0577-35-1559 E-mail: welcom@movie.ocn.ne.jp

